





授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/13	歯学教育と学生生活	1. 歯学教育体系を説明できる。 2. 学生の心得を説明できる。 3. 喫煙と飲酒の害を説明できる。 4. 健康管理室の利用方法を説明できる。 5. 学生相談室の利用方法を説明できる。	板書、プリント配布、パワーポイントにより解説する。	山田良広、佐藤順子、吉水和規	B-1-3)-①
2	4/20	PBL導入	1. グループ討議の手法と図書館におけるリソース検索の実際を理解する。 2. 学習に必要なリソースの検索方法を説明できる。	図書館の蔵書、ネットワークを活用した論文検索を解説する。		
3	4/27					
4	5/11	課題検討	1. フレッシュマンキャンプでの成果を説明できる。 2. 課題の不足部分を説明できる。 3. 不足部分の補足を説明できる。	1. グループ討議により、パソコンなどを使用して学習サマリーをまとめる。 2. グループ内で発表用の媒体を完成し、各自のレポートを作成する。 3. 各グループで学習成果を発表し、ディスカッションする。 4. PBLの元ポートフォリオを再構築して凝縮ポートフォリオを作成する。		
5	5/18					
6	5/25					
7	6/1					
8	6/8	基礎教育と臨床教育	1. 基礎系科目を紹介できる。 2. 基礎系の研究を説明できる。 3. 基礎研究と臨床の関連を説明できる。	基礎分野の責任者が研究の特徴をプリントやパワーポイントを用いて説明する。	山田良広 本学教員	
9	6/15					
10	6/22		1. 臨床系科目を紹介できる。 2. 臨床系の研究を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。	臨床分野の責任者が研究の特徴をプリントやパワーポイントを用いて説明する。		
11	6/29					
12	7/6	歯科医師の社会貢献	1. 歯科臨床以外の歯科医師の社会貢献の意義を説明できる。 2. 社会貢献の方法を説明できる。 3. 社会貢献の学び方を説明できる。	担当者が活動の特徴をプリントやパワーポイントを用いて説明する。	山田良広 本学卒業生	
13	7/13					
14	( / )	振り返り総合学習	講義全体に関して、質問を受けるとともに、再度振り返る。	パワーポイントを用いて説明する。	山田良広	
15	( / )		講義全体に関して、質問を受けるとともに、再度振り返る。	パワーポイントを用いて説明する。	山田良広	

授業計画								
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準		
16	9/1	学習力養成講座導入	1. 学習力を説明できる。 2. 歯科医師に必要な教養を説明できる。 3. 歯科医師に必要な知識を説明できる。	板書、プリント配布、パワーポイントにより解説する。	山田良広	B-1-3)-②		
17	9/1							
18	9/8	学習力養成講座	1. 学習計画を立てることができる。 2. ポートフォリオの意義を説明できる。 3. キャリアプランニングの意義を説明できる。	//	山田良広 法人教員			
19	9/8							
20	9/15						歯科医師になるために必要な倫理観について説明ができる。	//
21	9/15							
22	9/22						歯科医師になるために必要な自立・自律力、自己管理能力の重要性を説明できる。	//
23	9/22							
24	9/29						歯科医師になるために必要な団体生活のマナー、リーダーシップ、コラボレーション力を説明できる。	//
25	9/29							
26	10/6						歯科医師になるために必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力を説明できる。	//
27	10/6							
28	10/13	1. 歯科医師として必要な地域交流、国際交流を説明できる。 2. キャリアプランニングの意義を説明できる。	//					
29	10/13							
30	10/20	PBL導入	1. 他已紹介によるアイスブレイクの利点を説明できる。 2. KJ法の手法を説明できる。 3. グループ内で協調性をとることができる。	提供される資料から、ホワイトボードを使用してKJ法を実践する。	山田良広 窪田光慶 PBL 担当教員			

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
31	10/20	PBL導入	1. 他已紹介によるアイズブレイクの利点を説明できる。 2. K J法の手法を説明できる。 3. グループ内で協調性をとることができる。	提供される資料から、ホワイトボードを使用してK J法を実践する。	山田良広 窪田光慶 PBL 担当教員	
32	10/27	PBL総論	1. PBLの概要を説明できる。 2. PBLの手法を説明できる。 3. PBLの長所を説明できる。 4. 学習に必要なリソースの検索方法を説明できる。 5. レポートのまとめ方を説明できる。	板書、プリント配布、パワーポイント、VTR、ネットワークを活用した論文検索により解説する。	山田良広 窪田光慶 PBL 担当教員	B-1-3)-①
33	10/27					
34	11/10	PBLコアタイム	1. PBLのステップ1~5を説明できる。 2. シナリオから問題点(不明部分)を抽出できる。 3. 問題点から学習項目を明らかにできる。	提供されるシナリオから、ホワイトボードを使用してPBLのコアタイムを実践する。		B-1-1)-① B-1-2)-②
35	11/10					
36	11/17	PBL成果のまとめ	1. 各自が学習成果を発表することができる。 2. グループ内で討議することができる。 3. グループで学習サマリーをまとめることができる。 4. 学習サマリーを発表用の媒体に工夫できる。	グループ討議により、パソコンなどを使用して学習サマリーをまとめる。		B-1-1)-③ B-1-2)-②,③
37	11/17					
38	11/24					1. 発表用の媒体を作成することができる。 2. 各自でレポートを作成することができる。
39	11/24					
40	12/1	PBL成果の発表	1. プレゼンテーションをすることができる。 2. プレゼンテーションの内容に対して、質問や意見を述べることができる。	各グループで学習成果を発表し、ディスカッションする。		B-1-2)-③
41	12/1					
42	12/8		1. プレゼンテーションをすることができる。 2. プレゼンテーションの内容に対して、質問や意見を述べることができる。			B-1-2)-③
43	12/8					//
44	12/15	ふり返り総合学習	1. PBLの資料を整理して系統立てることができる。 2. ポートフォリオを完成することができる。	PBLの元ポートフォリオを再構築して凝縮ポートフォリオを作成する。	山田良広	
45	12/15					